

CASBEE-建築(新築)2014年版
ひびき瀧石炭・バイオマス発電所建設工事【タービン建屋】

欄に数値またはコメントを記入

 ■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境			0.32	-	-	3.0
1 音環境		3.5	0.15		-	3.5
1.1 騒音		3.0	0.40		-	
1.2 遮音		3.8	0.40		-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能	HEPオフィス Dr値=45	5.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-	
1.3 吸音	HEPオフィス 床:タイルカーペット、天井:ロックウール吸音板	4.0	0.20		-	
2 温熱環境		2.3	0.35		-	2.3
2.1 室温制御		2.5	0.50		-	
1 室温		3.0	0.38		-	
2 外皮性能	適切な断熱施工	4.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性		1.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-	
2.3 空調方式		3.0	0.30		-	
3 光・視環境		3.5	0.25		-	3.5
3.1 昼光利用		3.0	0.30		-	
1 昼光率		3.0	0.60		-	
2 方位別開口			-		-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-	
1 昼光制御		3.0	1.00		-	
3.3 照度		3.0	0.15		-	
3.4 照明制御	1作業単位で制御でき、リモコンでの調整も可能	5.0	0.25		-	
4 空気質環境		3.3	0.25		-	3.3
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材を全面的に使用	4.0	1.00		-	
2 放射線対策			-		-	
4.2 換気		2.3	0.30		-	
1 換気量		3.0	0.33		-	
2 自然換気性能		3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33		-	
4.3 運用管理		3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		-	-		-	
2 喫煙の制御		3.0	1.00		-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.9
1 機能性		2.4	0.40		-	2.4
1.1 機能性・使いやすさ		1.6	0.40		-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画		1.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30		-	
1 広さ感・景観		3.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33		-	
3 内装計画		3.0	0.33		-	
1.3 維持管理		3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
3 電気管理業務			-		-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-	
1 耐震性		3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		4.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	角波サイディング+フッ素樹脂:30年	5.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:タイルカーペット20年、壁:塗装(下地共)20年、天井:ボード類30年	5.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	上位3種:給水(B)・汚水排水(B)・雑排水(B)、Eは不使用	5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	

2.4 信頼性	1 空調・換気設備		1.6	0.20		-	
	2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3 電気設備		2.0	0.20		-	
	4 機械・配管支持方法		1.0	0.20		-	
	5 通信・情報設備		1.0	0.20		-	
			1.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.4	0.30		-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30		-	
1 階高のゆとり	2 空間の形状・自由さ	階高3.9m以上確保	5.0	0.60		-	
		2階事務所: 壁長さ比率=0.29、1階工場: 壁長さ比率=0.11	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性	2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPIm=0.71	4.0	0.05		4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.12		3.0
3 設備システムの高効率化			BEIm 非住宅 0.72 住宅(専有部) -	4.0	0.60		4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	集合住宅の評価(3c)	LED照明や効率化設備を採用	4.0	1.00		-	
				-		-	
4 効率的運用			2.5	0.24		-	2.5
集合住宅以外の評価	4.1 モニタリング		2.5	1.00		-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価	4.1 モニタリング		2.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	自動水栓や節水型便器を積極的に採用	4.0	0.40		-	
			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60		-	3.2
2.1 材料使用量の削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用		2.0	0.10		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	2.5 持続可能な森林から産出された木材	ビニル系床材	3.0	0.20		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	内装が乾式工法で設備との錯綜を回避、OA707を採用	3.0	0.10		-	
			5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20		-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.30		-	
			3.5	0.70		-	
1 消火剤	2 発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材はノンフロン製品を採用	-	-		-	
	3 冷媒		4.0	0.50		-	
			3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			3.8	0.33		-	3.8
2 地域環境への配慮			2.2	0.33		-	2.2
2.1 大気汚染防止	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.25		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.0	0.50		-	
1 雨水排水負荷低減	2 汚水処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制		-	-		-	
1 雨水排水負荷低減	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
			2.0	0.33		-	
1 雨水排水負荷低減			1.0	0.33		-	
						-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制		3.0	0.50		-	
1 騒音	2 砂塵の抑制		-	-		-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.50		-	
1 振動			3.0	0.40		-	
			3.0	0.70		-	
1 悪臭				-		-	
			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.70		-	
			3.0	0.30		-	